

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 世界インカム資産ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第90期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界の様々な債券、株式等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 世界インカム資産ファンド（毎月決算型）

追加型投信／内外／資産複合



第90期末（2023年9月19日）

基準価額	12,480円
純資産総額	92百万円
第85期～第90期	
騰落率	15.4%
分配金（税込み）合計	180円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

交付運用報告書

- 第85期（決算日 2023年4月18日）
- 第86期（決算日 2023年5月18日）
- 第87期（決算日 2023年6月19日）
- 第88期（決算日 2023年7月18日）
- 第89期（決算日 2023年8月18日）
- 第90期（決算日 2023年9月19日）

作成対象期間（2023年3月21日～2023年9月19日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
（受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時）

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

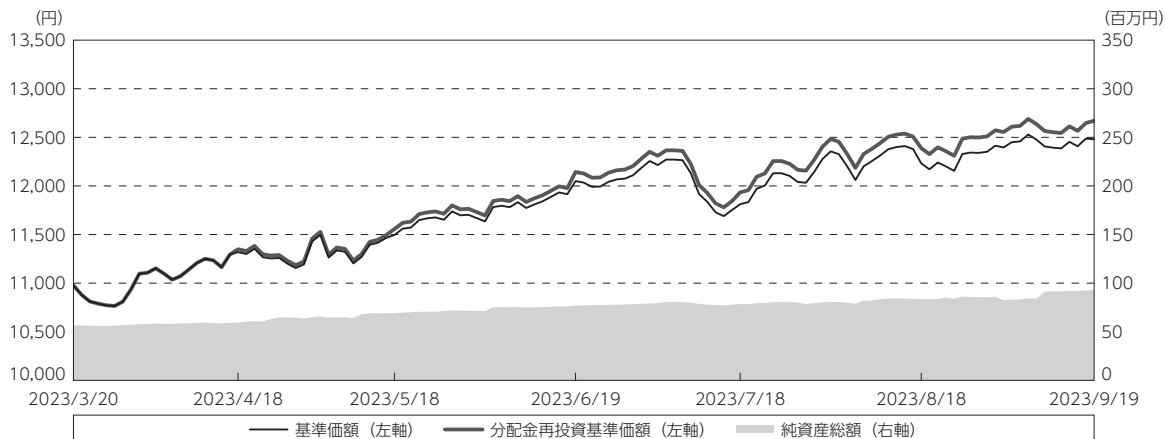
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年3月21日～2023年9月19日)



第85期首：10,977円

第90期末：12,480円 (既払分配金(税込み)：180円)

騰落率：15.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年3月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界の様々な債券、株式などを実質的な主要投資対象とし、債券、株式の銘柄選択に当たって高いインカムに着目した結果、株式の配当や債券のクーポン収入を通じて着実にインカム・ゲインを獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。
- ・債券、株式などの資産配分については、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更した結果、米国、英国、フランスなどの株式市場が上昇したこと、ハイ・イールド債券市場が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、作成期を通じてみると為替市場で円安/米ドル高となったことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・債券、株式などの資産配分については、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更した結果、ベース金利となる米国や英国などの国債利回りが上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

(2023年3月21日～2023年9月19日)

1万口当たりの費用明細

項 目	第85期～第90期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 51	% 0.429	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(3)	(0.028)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.083	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(5)	(0.042)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	61	0.512	
作成期間の平均基準価額は、11,801円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

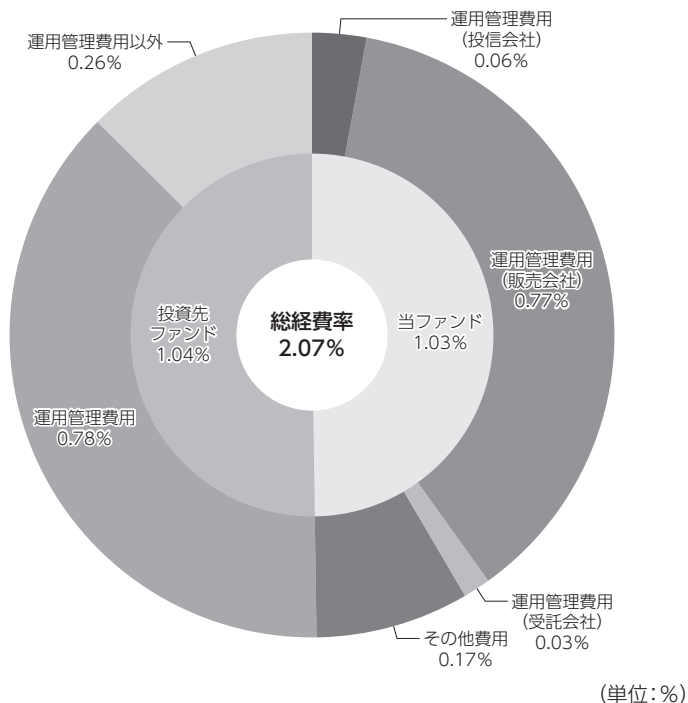
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



総経費率(①+②+③)	2.07
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.26

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

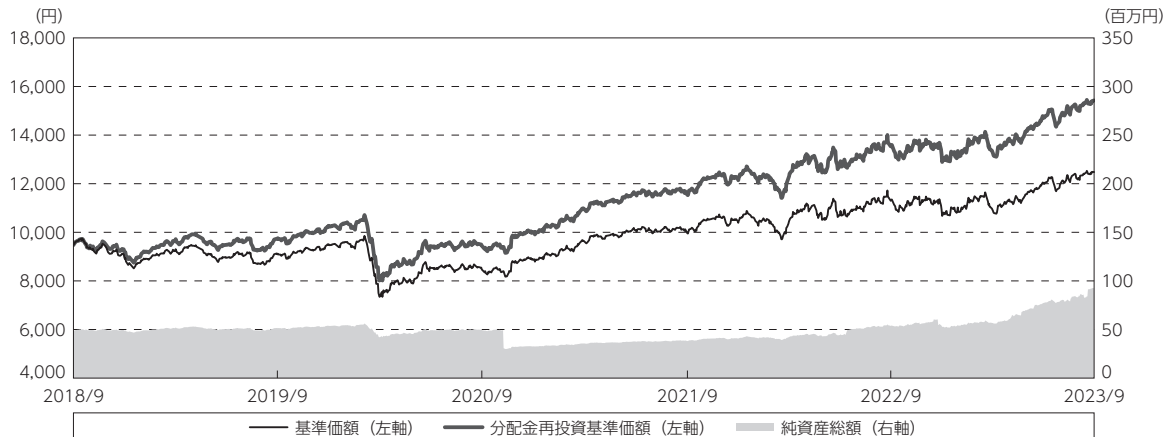
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月18日～2023年9月19日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年9月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月18日 決算日	2019年9月18日 決算日	2020年9月18日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月19日 決算日
基準価額 (円)	9,472	9,092	8,468	9,956	11,296	12,480
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	620	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.7	△ 2.9	22.1	17.3	14.0
純資産総額 (百万円)	48	51	49	38	53	92

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、自由度の高い運用手法を用い、市況動向に応じて債券、株式等の資産配分を積極的に変更する運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

(2023年3月21日～2023年9月19日)

投資環境

＜株式市場＞

S & P 500 指数 (米国)	+12.5%	F T S E 100 指数 (英国)	+3.5%
D A X 指数 (ドイツ)	+4.9%	C A C 40 指数 (フランス)	+3.8%

※株価指数の騰落率は当作成期末時点（対前作成期末比）の数値です。

当作成期間中、世界の主要株式市場は上昇しました。作成期前半は、①米連邦準備理事会（F R B）の利上げ打ち止めが近いとの見方が強まったこと、②欧州では、ユーロ圏経済が堅調さを維持しているとの見方が広がったこと一などを背景に、世界の株式市場は緩やかに上昇しました。作成期後半に入ると、米国景気のソフトランディング期待が高まり、①投資家のリスク選好姿勢が強まったこと、②欧州中央銀行（E C B）が利上げを長期間継続するとの見方が後退したこと一などを受け、株式市場は続伸する展開となりました。その後、株価が軟調に推移する局面もありましたが、作成期を通じて見ると世界の主要株式市場は上昇しました。

＜債券市場＞

米国10年国債利回り 4.36%（前作成期末 3.49%） 英国10年国債利回り 4.34%（同 3.31%）

※上記は当作成期末の数値です。

当作成期間中、欧米各国の債券利回りは上昇しました。米国では、米国の地方銀行数行の経営破綻を契機とした金融不安の高まりなどを背景に、作成期前半にかけて金利は低下（債券価格は上昇）基調で推移しました。その後は、堅調な経済指標などを背景に、F R Bによる利上げが継続するとの観測が高まったことなどを受け、米国10年国債利回りは上昇しました。一方、欧州では、E C Bやイングランド銀行（B O E）による利上げ継続が見込まれたことなどから、各国の金利は上昇（債券価格は下落）基調で推移しました。

＜為替市場＞

＜対円為替レート＞

1 米ドル = 147 円 73 銭（前作成期末 132 円 68 銭）

※当作成期末の数値です。

為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。当作成期間中、F R Bが政策金利の引き上げを実施した一方、日銀は金融緩和政策を維持したことなどにより、米国の長期金利が上昇し、日米金利差が拡大したことなどを背景に米ドル高/円安が継続し、高値圏で作成期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年3月21日～2023年9月19日)

インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド (以下、マザーファンドといたします。) を高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券、株式などに実質的に投資しました。債券、株式の銘柄選択に当たっては、高いインカムに着目しました。また、債券、株式などの資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行いました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといたします。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (米ドルヘッジ) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券、株式などに投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更しました。具体的には、作成期を通じて株式とハイ・イールド債券の組み入れを高位としました。国別配分では、米国、英国、フランス、イタリア、ドイツを中心に運用を行いました。

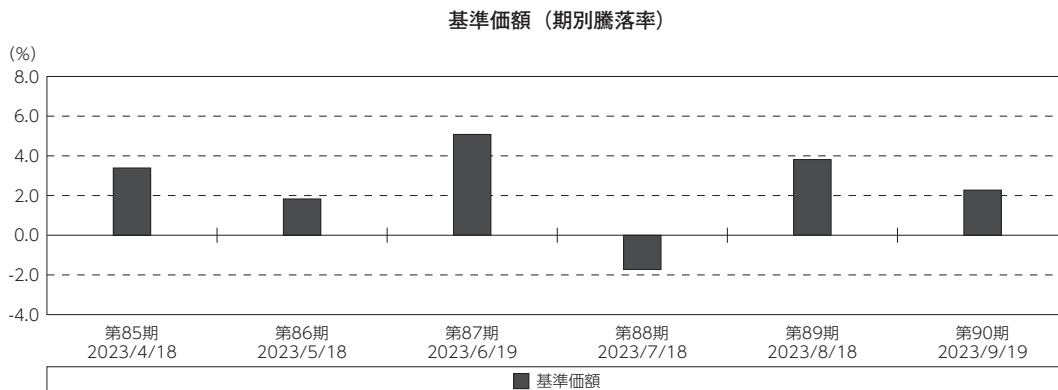
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年3月21日～2023年9月19日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(2023年3月21日～2023年9月19日)

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第85期から第90期まで1万口当たり30円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2023年3月21日 ～2023年4月18日	2023年4月19日 ～2023年5月18日	2023年5月19日 ～2023年6月19日	2023年6月20日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月18日	2023年8月19日 ～2023年9月19日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.264%	0.260%	0.248%	0.253%	0.245%	0.240%
当期の収益	－	－	－	－	－	30
当期の収益以外	30	30	30	30	30	－
翌期繰越分配対象額	5,162	5,132	5,262	5,232	5,434	5,671

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券、株式などに実質的に投資します。債券、株式の銘柄選択に当たっては、高いインカムに着目します。債券、株式などの資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行います。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券(米ドルヘッジ)に投資を行います。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券、株式などに投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更する方針です。市場動向に応じて債券、株式、キャッシュなどへの資産配分を積極的に変更し、発行体企業のファンダメンタルズ分析やリスク・リターンバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。株式の銘柄選定においては、足元の不安定な相場を勘案し、バランスシートが健全かつ魅力的な配当水準が期待できる企業に投資を行います。世界的にインフレがピークアウトしたという見方が広がっているものの、各国の中央銀行が金融引き締め政策を継続する中、投資環境は引き続き不安定であることを勘案し、資産配分を機動的に調整しながら、相対的に高いインカム収益と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

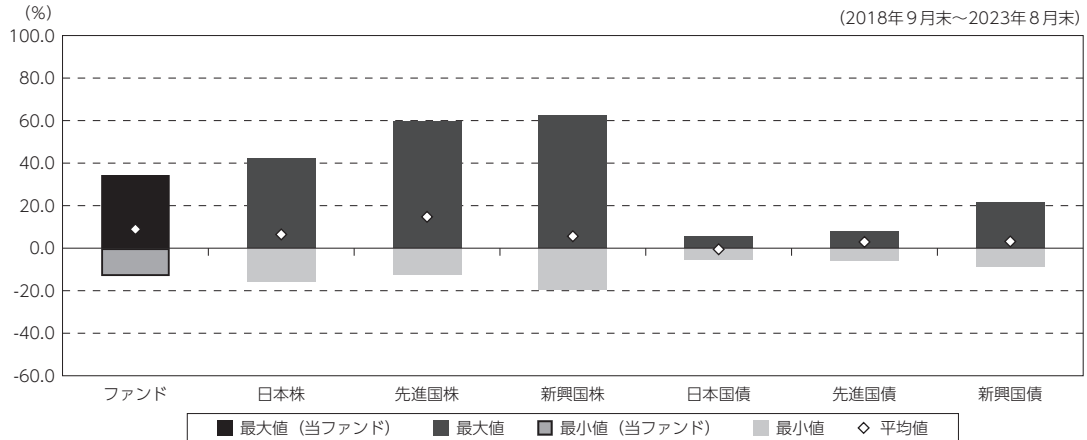
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2026年3月18日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の様々な債券、株式等に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 世界インカム資産ファンド (毎月決算型)	「インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド	別に定める投資信託証券 [*] へ投資し、主として日本を含む世界の様々な債券、株式等に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (米ドルヘッジ) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として日本を含む世界の様々な債券、株式等に実質的に投資します。 ・債券、株式の銘柄選択にあたっては、高いインカムに着目します。債券、株式等の資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時 (毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.9	6.5	14.8	5.6	-0.5	2.9	3.2
最大値	34.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-13.1	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P14の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月19日現在)

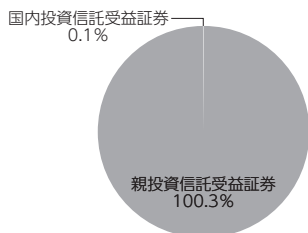
○組入上位ファンド

銘柄名	第90期末
インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド	100.3%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

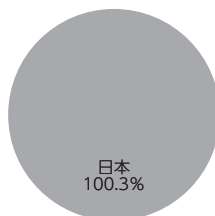
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

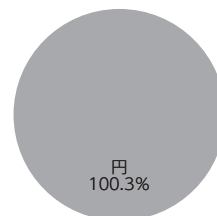
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
	2023年4月18日	2023年5月18日	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月18日	2023年9月19日
純資産総額	59,437,224円	69,195,891円	76,871,773円	78,469,403円	83,357,914円	92,657,793円
受益権総口数	52,509,490口	60,192,797口	63,792,382口	66,431,469口	68,148,045口	74,247,107口
1万円当たり基準価額	11,319円	11,496円	12,050円	11,812円	12,232円	12,480円

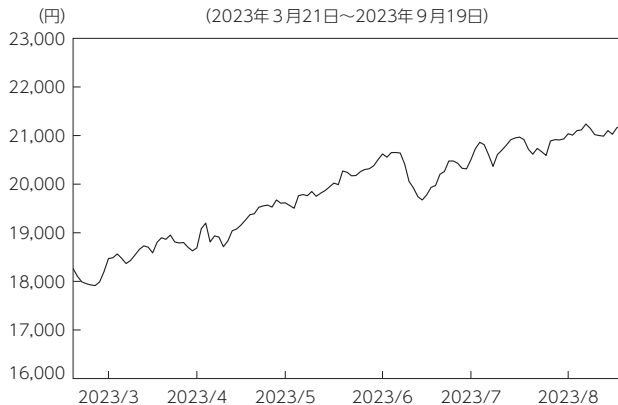
* 作成期間 (第85期～第90期) 中における追加設定元本額は32,918,324円、同解約元本額は10,440,711円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年3月21日～2023年9月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月21日～2023年9月19日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	円 5 (5) (0)	% 0.027 (0.027) (0.000)
合計	5	0.027

期中の平均基準価額は、19,822円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

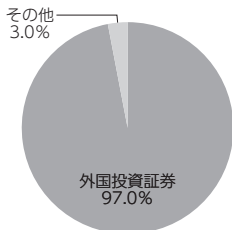
(2023年9月19日現在)

銘柄名	第15期末
インベスコ グローバル・インカム・ファンド クラスC-QD	% 97.0
組入銘柄数	1銘柄

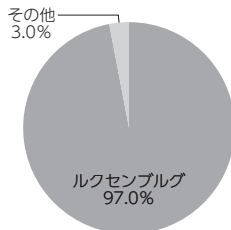
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

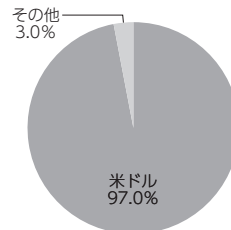
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

———— (参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ グローバル・インカム・ファンド ————

「インベスコ 世界インカム資産 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ グローバル・インカム・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位 10 銘柄】

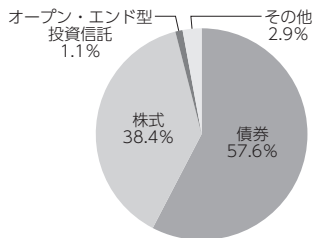
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	3i Group Plc	株式	2.1
2	United States Treasury Note/Bond 2.875% USD 30/09/2023	債券	2.1
3	Verallia SA 144A	株式	2.0
4	AIA Group Ltd	株式	1.5
5	Microsoft Corp	株式	1.4
6	Broadcom Inc	株式	1.4
7	Bundesschatzanweisungen 0% EUR 15/09/2023	債券	1.4
8	American Tower Corp	株式	1.3
9	BNP Paribas SA	株式	1.3
10	ING Groep NV	株式	1.2
組入銘柄数		420銘柄	

(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

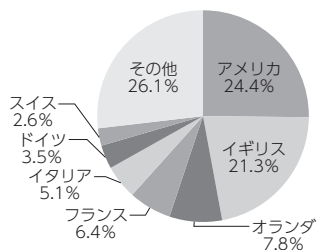
【資産別配分】



(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

【国別配分】



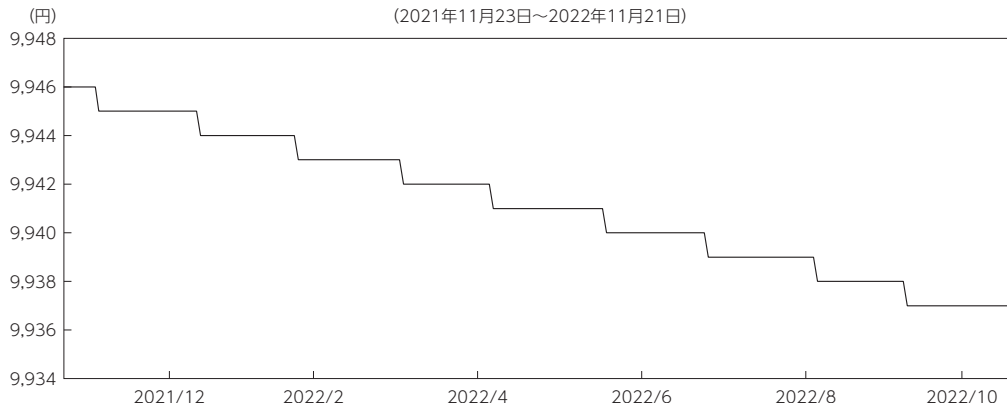
【通貨別配分】

必要な情報が開示されておりません。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2021年11月23日～2022年11月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	0	0.000	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、9,941円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2022年11月21日現在)

2022年11月21日現在、有価証券等の組み入れはございません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIX (東証株価指数) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社が MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社が JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JPMorgan Chase & Co. 及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。